

# 平成 30 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ 機械工学インターンシップコース 8 月レポート 「海外生活のはじまり」

## Greeting

皆さんはじめまして。平成 30 年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ〈機械工学インターンシップコース〉の奨学生としてアメリカ、オハイオ州に留学しています、江原 猛(えばら たける)と申します。

まずは、このようなすばらしい機会を与えてくださった Nissin Brake of Ohio、The University of Findlay、埼玉県国際課の皆様、留学を了承してくれた両親と親戚の方々また、留学に行くにあたり相談に乗っていただいた東京電機大学の皆様にこの場をお借りして感謝を申し上げます。

毎月、インターンシップやフィンドレー大学での活動報告をするとともに皆さんに海外インターンシップや海外留学について興味を持っていただけるようなレポートを発信しますので、ぜひ興味を持って読んでいただけたらと思います。

## Internship at NBO

機械工学インターンシップコースということで、毎週火曜日と木曜日の 7:30~16:00 はフィンドレー大学から車で 15 分ほどのところにある Nissin Brake of Ohio(NBO)にインターンシップ生として働きに行っています。NBO では主に車やバイクに使われるブレーキを作っています。アメリカにある工場なので英語を使つての会話になり、機械工学の専門用語ももちろん英語なので聞き取るのが困難な場面もありますが分かるまで聞いたり紙に書いてもらったりして聞き違いのないように心がけています。

8 月は手伝いがメインとなりました。内容としてはライン作業、工作機械の修理、新しいラインの作成をそれぞれ手伝いました。新しいラインの作成では新品の工作機械を工場を使いやすいように加工しました。詳細な内容はまだ聞かされていませんが、9 月からはあるプロジェクトを任されるそうなのでより一層緊張感をもってインターンシップに臨みたいと思います。



加工後の工作機械の動作チェック

## Started school at University of Findlay

インターンのない月、水、金曜日は全校生徒 4200 人ほどのフィンドレー大学にて IELP(Intensive English Learning Program) というクラスで英語の授業を受けています。学生は全員、学内の寮かハウスに住むことが義務付けられており、それらの建物も含めて大学なので敷地がとても広いです。他にもジムやカフェなども学内に設置されており学内だけで生活が送れるようになっています。

授業に関してはひとクラス 10 人程度で中国、ブラジル、サウジアラビアの留学生と一緒に授業を受けています。

クラスの人数が少ないのでわからない点があればすぐに先生に質問することができます。また、English Language Learner (ELL) Support Center という授業以外の英語に関する質問を聞いてくれる施設もあり、とても充実しています。



大学のマスコット、Derrick the Oiler と

## Keep right

アメリカで運転する前は「逆走してしまわないか。」「右寄りになってしまわないか。」などの心配事はありませんでしたが、意外とすぐに慣れました。それどころか、アメリカの道路は道幅が広く見通しがいいのでとても運転しやすいです。加えて高速道路はほぼ無料で乗ることができ、ガソリンもとても安いのでつい車で遠出したくなります。ということで、8月末にNBOからお借りしている車を使ってナイアガラの滝に日帰りで行きました。ナイアガラの滝はフィンドレーから片道 550km ほどのところにあります。朝 5 時に出発して昼にナイアガラの滝に到着して観光しました。結局フィンドレーに帰ってきたのは夜の 11 時頃で、後日アメリカ人の友達にこのことを話したところ「You are so crazy!!」と言われてしまいました。(笑)



NBO からお借りしている Fit



ナイアガラの滝にて私(左)と山本さん(右)